よかねぇ

長崎市新たな文化施設を考える市民ワークショップかわら版

Vol.05

発行：長崎市文化振興課
編集：株式会社シアターワークショップ

第5回テーマ「基本計画素案について」

周辺のエリアや施設とどのように連携していく？

チェロ

「機能性・利便性・回遊性」
プラットフォーム
- 各施設の管理課同士の情報交換、施設それぞれが催し物を計画するのでなく期間を分けて拠点を設定
- 移動しながら長崎の景観が見れるような導線を考える、子どもを連れてきやすいイベント
- キャンプ、キッズランド的なイベント、植木市、物産展等の開催
- 各施設ごとにスタンプを押して記念品（名物名産）をもらえるように

移動手段・駐車場
- 空いている駐車場の表示板、高齢者のために歩く歩道がほしい（とくに諏訪神社内）
- エリアの外に駐車でき、エリア内は子供が喜ぶような目玉的な移動手段

発信
- 観光の方にむけてどこに何があるかをわかりやすく表示、広報をしっかり

ピアノ

「日常を楽しめる“まち・文化施設”にする＝長崎におけるBUNKAMURA」
- 旧公会堂とちがって高台にあるので障害者や高齢者の足を考えてほしい
- 観光客が気軽に訪問できるような展示スペース、斜めの土地を逆に生かしてほしい

↓
- 平和を考える展示・映画演劇など、同時にできるイベントを行う

↓
- ホール向いの公園に屋外ステージ、ホワイエなど利用してフリーマーケットができるように、駐車場の確保

まちの機能の再編
- 各方面から文化施設への動線を無駄にしないアイデア、買い物や食事の場所と連携したまちづくり
- 街をあげての連携したイベント（まちなかフェスタ、移動型のパフォーマンス）
- 一般市民が新ホールを利用するようになれば飲食施設利用も増える

フルート

周辺の空間を活かしたい
- 桜町公園の桜を切らないで！、近隣公園は芝生に、桜町駐車場を新ホールと一体化に!!
- 新ホールを文化発信の中心としてそこから長崎の町を「さるく」環境づくりをする
- 歩けるような環境作り→新ホール→図書館→江戸町→出島→新地→東山手→居留地
- ホールまで歩いて行けるような環境、道を整備してほしい

視野の広がりがほしい
- 視野が広がる様な環境を、古いと云わないで古い中から新しい事を、ホールと周囲を別物にしないで
- 誘導出来る様な環境を考える、ホールを中心に視野の広がるような周辺整備であってほしい

街並みを活かす
- 古い建物を生かしたまちづくり、周辺の空き家を若い人が活用できるように支援していく

こんなイベントはいかがですか
- 新ホールで行われるイベントのデモンストレーション、長崎市民全体で楽しめるイベント（盆踊りなど）
- 新ホール、新市役所等を含めた市民のイベント、公園等とのつながりで行き来しやすい環境になるといい

長崎を目指した人々へ思いをはせ再び目指す
温故知新長崎を目指した人たち、何故か考えてみる必要がある★
- 新ホールを起点とした歴史ルート図を作って展示、新ホールに長崎の歴史が学べるようなスペースを作る
- 長崎だけで学べるものを、長崎だけの特典をつくる、歴史を感じる場、歴史の渋味をより以上深める事を

こんな活動に参加したいな／こんな組織があったらいいな

チェロ

「One Team　文化都市 ながさき」
事務局…教育機関、大学・高校、文化サークル、文化団体
- 各グループの活動一覧をアップ、活動場所を教える事が出来れば良い
- 若い人に宣伝動画をあげてもらう、動画やポスターのコンペ

プラットフォームメンバー…
- 各文化施設、JR長崎駅、長崎バス、企業、教育機関、諏訪神社

ピアノ

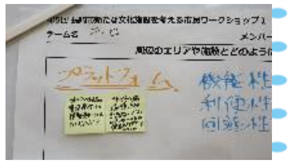
「設計と伴走する市民組織」
- 設計について、使う人から具体的な要望を聞き取りして欲しい
- 文化施設活用のための市民参加の組織づくり
- 若者のアイデアを熟練者のサポートで実現出来たら素晴らしい！

↓
- 恒例化した市民イベント、日舞、バレエ、ダンスなど幅広い創作舞台を作りたい
- イベントのボランティアスタッフ、手伝い組織、アドバイザーが常にいてほしい
- 若い世代の要望が聞ける組織作り、SNSの発信

- 完成までのカウントダウン、新ホール完成までの情報を各所で配信する
- パネル展示、工事現場がのぞける窓、広報活動の為のアンテナショップ

フルート

「集まれる場所がほしいです」
- 文化人養成塾を開いて市民誰でも参加、学生が集まり照明等の手伝いをする
- 同時多発のライブイベント、市民が集まる盆おどり
- イベントを一緒に企画するサポーター、指導する、参加する
- 長崎市民なら優先して施設を使用できる制度があるといいな
- 新ホールでの市民アマチュアミュージシャン参加のイベントサポーター
- まち全体が会場になる音楽祭、県外からも人が集まるイベントや公演



ついに最終回！

令和5年1月14日（土）、ワークショップ最終回が開催されました。前回より1年以上期間が空いてしまいましたが、継続してご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！

最終回のテーマは「基本計画素案について」。現在、パブリックコメントを実施中（2月15日まで）ですが、ワークショップの場でも、素案の概要説明やこれまでの振り返りをさせていただきました。そして、計画のなかに記載されている「周辺施設・エリアとの連携」について、どのような取り組みができるか意見交換しました。

さらに、次フェーズの管理運営計画策定に向けて、「市民参加・市民協働組織」に関するアイデアやご意見も頂戴しました。これから新たな文化施設や長崎市のまちづくりにどう関わっていきたいか、どう仲間を増やしていくか…皆さんの熱い想いを共有していただきました！

これからどうする？

今後の市民ワークショップ開催については未定ですが、「市民参加の組織づくり」「若い世代の要望が聞ける組織づくり」など市民参画に対する前向きなご意見をたくさんいただきました。新たな文化施設が市民の皆さまと共に誕生し、共に成長し続ける場となるよう、引き続き検討を進めてまいります。最後になりましたが、第1回よりご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！

何でもアンケート

今回、見学として参加させてもらったのですが、これから新たにつくられる文化施設とその周辺のまちづくりを考えることが今後の長崎市にとって重要なことであると改めて気づくことができました。

また参加者の皆さんの日頃から感じているまちへの熱や愛も感じるWSでした。

音楽が好きな人がホールへ行って、このようなイベントがあるのかと（好きなこと以外の）情報を得て、人生が楽しめるような場所にしてほしい。

久し振りのワークショップ楽しかったです。文化施設をうまく動かすために、いろんな施設、いろんな人・団体がつながっていく事が大切だなと思いました。

テーマとしては、今日が一番難しかったと思います。しかし他のチームの話をきくと、あぁなるほどそういうこともあるなぁと今日もいい勉強になりました。